

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道岩見沢市 総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	対象	ド透未方	救 臨 感 へ 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
81,778	30,927	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

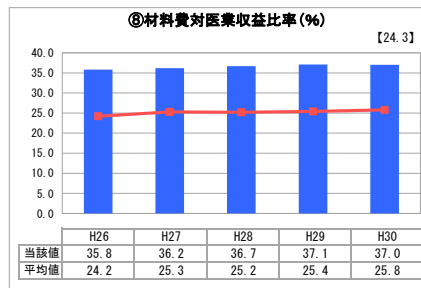
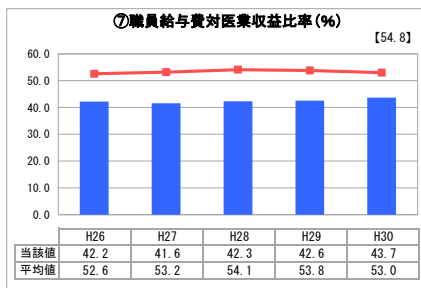
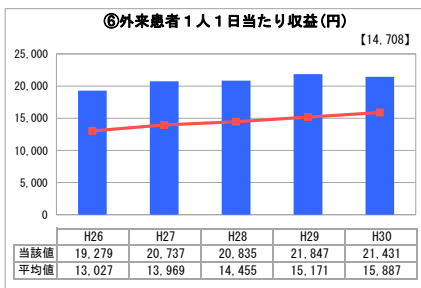
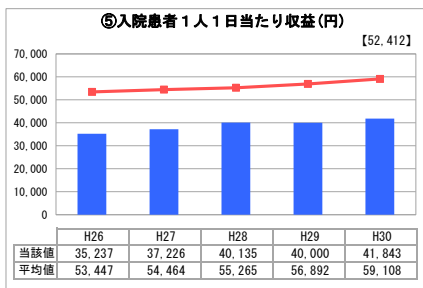
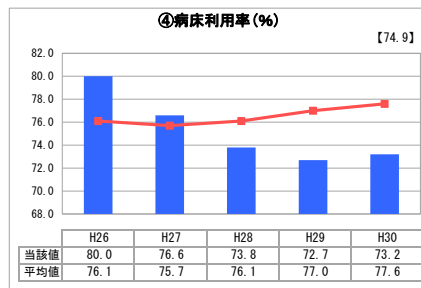
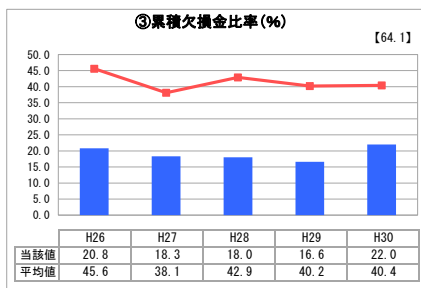
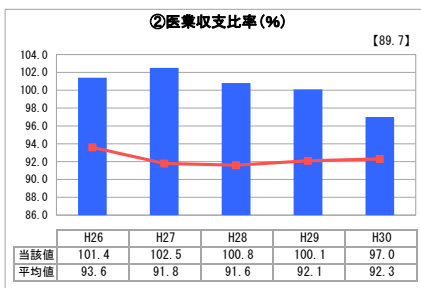
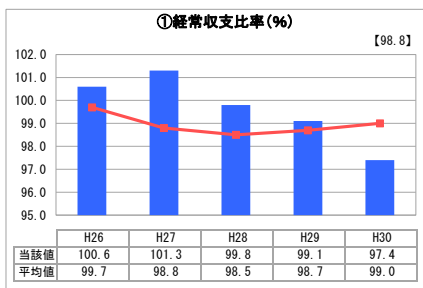
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 がん…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
365	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
115	4	484
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
365	-	365

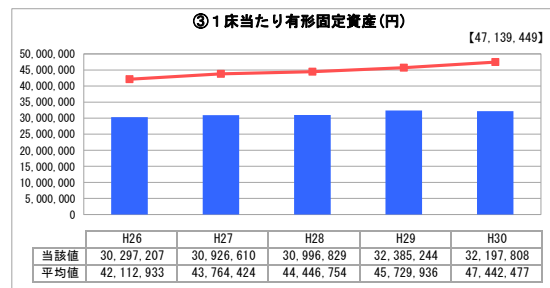
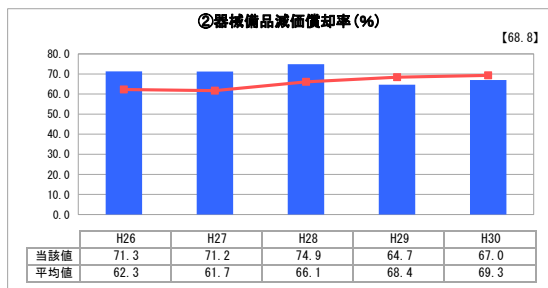
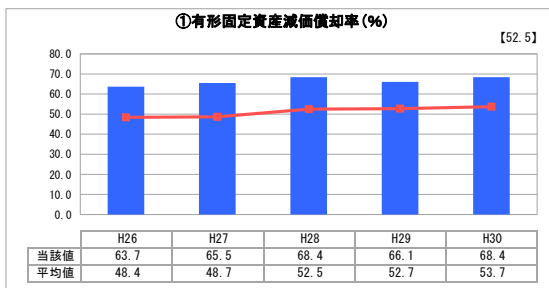
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

当院は、南空知圏域において救急医療、小児医療及び高度医療などに対応可能な地域センター病院として、圏域内の中核的な役割を担っているほか、災害拠点病院の指定、地域周産期母子医療センターの認定を受けており、当市はもとより、南空知圏域から多くの入院患者や外来患者を受け入れています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①②は出来高請求からDPCへの移行により、入院収益は増収となりましたが、後発医薬品への切替等により、外来収益が減収となり、両比率とも前年度よりさらに減少し、厳しい状況となっております。③は収益の減少に加え、前年度に更新した総合医療情報システムの減価償却が開始したことにより、増加しております。④は緊急患者の受け入れ体制の見直し等により減少していましたが、病床の有効活用に取り組み、前年度と比較し増加しております。⑤はDPCへの移行により、増加しております。⑥は院内処方を行うため、類似病院平均を上回っており、同様の理由で、⑦は類似病院平均を下回っており、⑧は薬品費の割合が類似病院より高くなっているため、類似病院平均より上回っております。

### 2. 老朽化の状況について

総合医療情報システムの更新等により、有形固定資産（器械備品）が増加したことで、前年度に①②ともに減少しておりますが、この要因を除けば、依然として各々の減価償却率は上昇傾向にあり、①は類似病院平均値よりも高く、老朽化は進んでいる状況です。

## 全体総括

施設等の老朽化が進んでおり、それに伴い、修繕・保守にかかる経費等（減価償却費を含む）が年々増加傾向にあります。収支に関して、経常収支比率は類似病院平均値を下回り、赤字となっております。今後、施設等の更新を進めていくためにも、入院・外来収益等の増収や経費削減等に努め、健全な病院経営を図っていく必要があります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。